

平成26年7月吉日

各都道府県教育委員会教育長 様
各教育事務所長 様
各市町村教育長 様
各中学校長 様
各関係者 様

全日本中学校国語教育研究協議会 会長 新飯田 潤一
千葉県教育研究会 会長 北口 倫也
千葉県教育研究会国語教育部会 会長 飯田 良
千葉市教育研究会国語部会 理事 備中 隆文

＜第二次案内＞

平成26年度 第43回 全日本中学校国語教育研究協議会 千葉大会
平成26年度 第57回 全関東地区中学校国語教育研究協議会 千葉大会
平成26年度 第48回 千葉県教育研究会国語教育部会研修会 千葉大会
平成26年度 第53回 政令指定都市中学校国語教育研究協議会 千葉大会

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の研究大会を下記のとおり開催いたします。研究主題を「確かな学力の育成 ～中学校国語科の授業づくり～」とし、確かな学力を身につけさせるために小・中・高校の連携を見据えた授業実践を発表したいと考えております。その具体的な取組をご提案できるよう、5つの分科会を設定し授業を行うこととしました。2日間連続した授業を行い、1日目の授業の反省を活かした授業を2日目に行うように設定しています。また、学習指導要領の全面実施3年を経過し、これからの国語科教育の方向性についてもご参加の先生方と共に考える機会にしたいと思っております。ご参加をお待ちしております。

研究主題 確かな学力の育成 ～中学校国語科の授業づくり～

1 主催

全日本中学校国語教育研究協議会 全関東地区中学校国語教育研究協議会
千葉県教育研究会 政令指定都市中学校国語教育研究協議会
千葉県教育研究会国語教育部会 千葉市教育研究会 千葉市教育研究会国語部会

2 後援

文部科学省 千葉県教育委員会 千葉市教育委員会 千葉県中学校長会

3 期日 平成26年10月30日（木）・31日（金）

4 会場 千葉市立幸町第二中学校・ホテルポートプラザちば

5 大会日程

- ☆ 2日間にわたり5分科会の授業を連続して展開します。生徒の学習の深まりや教師の指導・支援の効果等についてじっくり見ていただきます。
- ☆ 小・中・高校の学習指導要領作成にかかわった3名の先生方がそれぞれのお立場から、中学校国語科に求められる授業づくりについて語り合うシンポジウムを行います。

● 1日目：10月30日（木） 会場：千葉市立幸町第二中学校・ホテルポートプラザちば

12:30	13:00	13:50	14:20	15:00	15:15	16:30	17:30	18:30	
受付	公開授業Ⅰ	移動	開会行事 基調提案	休憩	記念講話	休憩	シンポジウム	移動 理事会	休憩 情報交換 会

＊記念講話及びシンポジウム・・・「小・中・高校の連携を見据えた中学校国語科授業の在り方」

- ①「求められる中学校国語科の授業について」 講話：文部科学省教科調査官 富山 哲也先生
 ②「小学校との連携について」 講話：千葉大学教授 寺井 正憲先生
 ③「高等学校との連携について」 講話：筑波大学名誉教授 鳴島 甫先生
 ④三つの提案を受けたシンポジウム 司会：青山学院大学教授 高橋 邦伯先生
 シンポジスト：富山 哲也先生、寺井 正憲先生、鳴島 甫先生

● 2日目：10月31日（金） 会場：千葉市立幸町第二中学校・ホテルポートプラザちば

9:00	9:30	10:20	10:50	12:10	13:30	15:40
受付	公開授業Ⅱ	休憩 移動	授業研究 分科会	昼食 移動	研究発表 分科会	休憩 閉会行事

6 公開授業及び研究発表分科会

(1) 公開授業Ⅰ・Ⅱ・・・1日目：10月30日（木） 2日目：10月31日（金）

※5授業展開（1日目と2日目両日、2日目は1日目の続きの授業を行います。）

- ①話すこと・聞くこと ②読むこと1「文学」 ③読むこと2「説明」
 ④書くこと ⑤古典

【第1分科会：話すこと・聞くこと】

<单元名> 思いを重ねる ―「幸町句集」を作ろう―

<付けたい力>

◇話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。

【第2分科会：書くこと】

<单元名> 「千葉市のパンフレットを作ろう。」

<付けたい力>

◇論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。

【第3分科会：読むこと1（文学的文章）】

<单元名> 読書交流会で文豪の作品に触れよう

<付けたい力>

◇文章を読んで人間、社会、自然などについて、読書会を通して自分の考えをもつこと。

【第4分科会：読むこと2（説明的文章）】

<单元名> 新聞記事を読み比べよう

<付けたい力>

◇文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。

【第5分科会：伝統的な言語文化（古典）】

<单元名> 古典に登場する動物たち

<付けたい力>

◇古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いを想像すること。

(2) 授業研究分科会・・・2日目：10月31日（金）

授業研究分科会 領域	授業提案者	指導助言者
①話すこと・聞くこと	中木 希 (千葉市立真砂中学校教諭)	高橋 邦伯 (青山学院大学教授)
②書くこと	金子 礼明 (千葉市立犢橋中学校教諭)	首藤 久義 (千葉大学名誉教授)
③読むこと1「文学的文章」	細川 義文 (千葉市立さつきが丘中学校教諭)	森田 真吾 (千葉大学准教授)
④読むこと2「説明的文章」	岡本 聡司 (千葉市立生浜中学校教諭)	寺井 正憲 (千葉大学教授)
⑤伝統的な言語文化（古典）	菊池 麻里 (千葉市立おゆみ野南中学校教諭)	鳴島 甫 (筑波大学名誉教授)

(3) 研究発表分科会・・・2日目：10月31日（金）

研究発表分科会 領域	提言者	助言者	テーマ
①話すこと・聞くこと	佐久間正明 千葉県山武市立蓮沼中学校	岡野 武雄 大網白里市立増穂中学校長	伝え合う力を高めるための一考察 ～安心感の醸成を目指した入門期の指導をと おして～
	門田 勝宣 愛媛県松山市立東中学校	土居 聖治 愛媛県内子町立大瀬中学校長	相手意識、目的意識をもって、思いや情報を 伝える力を高める授業の創造—小集団活動を通 して—
②書くこと	松戸 伸行 千葉大学附属中学校	吉野精一郎 千葉市教育委員会学校教育部 指導課主任指導主事	千葉市文集「ともしび」を活用した言語活動 の継続で書く力を伸ばす学習指導のあり方
	岩野 江梨 埼玉県上尾市立大野中学校	中村 敏男 埼玉県北本市立東中学校長	生活に生きる「書くこと」の力の定着を図る 指導の工夫
③読むこと1「文学的文章」	渡邊 友美 千葉県一宮町立一宮中学校	伊藤 雅敏 千葉県茂原市立東郷小学校長	読後感想の活用 —自分の人生を語る—
	美坂 靖子 鳥取県倉吉市立東中学校	浜本 純逸 元鳥取大教授	『表現にひらくことを意識した「読むこと」 の指導』
④読むこと2「説明的文章」	末吉登紀子 千葉県いすみ市立岬中学校	狩野 久志 千葉県茂原市立豊田小学校長	自分の意見を形成するための説明的文章の学 習活動の工夫
	小山 節 東京都豊島区立明豊中学校	新藤 久典 国立音楽大学教授	向上心を育む説明的文章の指導
⑤伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	工藤美智代 千葉県鴨川市立安房東中学校	三平 智子 南房総教育事務所安房分室 指導主事	枕草子のシナリオづくりによる読み深め
	皆川慎太郎 北海道教育大学附属札幌中学校	葛西 孝之 札幌市立新陵中学校	生活との結び付きを大切にした古典の授業
⑥読書活動	林 広美 千葉市立高洲第一中学校	桑原 伸幸 千葉県教育庁教育振興部 指導課指導主事	校内・地域の専門性を融合した読書単元の創 造
	長谷川 圭奈 岐阜県岐阜市立境川中学校	安田 英士 岐阜県羽島郡岐南町立岐南中学 校長	目的に応じて必要な情報を読み取る力を伸ば す指導

